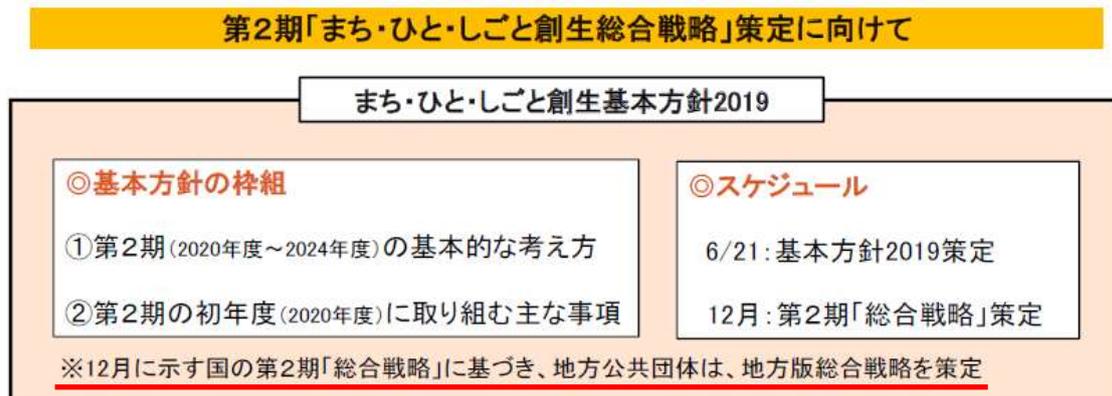


次期「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

1. 国の第2期「総合戦略」策定について



2. 東金市の第2期「総合戦略」策定について

①「総合計画」と「総合戦略」で重複した施策が多いことから、

「第2期総合戦略」は、現在策定作業を進めている2021年度を始期とした「第4次総合計画」と一体化したものととして策定する。

②2020年度については現行の「総合戦略」の計画期間を1年延長することで対応する。

<策定フロー>

	～H26 (～2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
<現状>		第3次総計 第3期基本計画	第3次総計・第4期基本計画				第4次総計・前期基本計画					
※総合戦略を国の示す基本的な年度編成のまま策定			現行 地方創生総合戦略(5カ年計画)				第2期 地方創生総合戦略(5カ年計画)					
							※ 第4次総計・前期基本計画とは1年ずれ					
<次期総合戦略策定(案)>		第3次総計 第3期基本計画	第3次総計・第4期基本計画				第4次総計・前期基本計画					
※総合戦略を1年延長し、次期総計と一体化して策定			現行 地方創生総合戦略(5カ年計画)				1年延長	※第2期地方創生総合戦略は第4次総計・前期基本計画と一体化して策定				

※総合戦略の「総計と一体的な策定」及び「期間延長」についての国の見解（総合戦略Q&Aより）

Q. 当市の地方版総合戦略と総合計画には重複した施策が多いため、次回策定の時に、総合計画と一体的に策定したいと考えており、KPIの設定などの一定の要件を満たしている場合には、総合計画をもって地方版総合戦略とみなしていただきたい。

A. 総合計画等が地方版総合戦略としての内容を備えているような場合には、総合計画等と地方版総合戦略を一つのものとして策定することは可能であると考えられます。

Q. 当市では、現行の地方版総合戦略の最終年度は2019年度となっていますが、総合計画の最終年度は2020年度となっているため、現行の地方版総合戦略の計画期間を1年延長して、次期「地方版総合戦略」と次期「総合計画」の計画期間を合わせたいと考えていますが、可能でしょうか。

A. まち・ひと・しごと創生については、国と地方が一体となり、中長期的視点に立って取り組む必要があるため、地方版総合戦略の計画期間は、可能な限り、国の次期「総合戦略」の計画期間に合わせていただきたいと考えていますが、地方創生の取組の基本的な計画である地方版総合戦略に切れ目が生じないのであれば、各地方公共団体の実情に応じた計画期間を設定することも、やむを得ないものと考えています。